

第17回 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 シンポジウム

ファミリークリニック開業後の
ウイメンズヘルス・マタニティケア診療

進藤ファミリークリニックたつの
兵庫県立はりま姫路総合医療センター 総合内科

進藤 達哉



COI開示

発表者名：◎ 進藤 達哉

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業などはありません



ふるさと たつの市

人口 **7** 万人強

市内分娩施設

頸がん検診可能施設

0
|

私の目標

セミオープンシステム(妊婦健診は自院、分娩は連携施設)で妊婦健診も実施できる**ファミリークリニック**を龍野に設立

まず総合内科・感染症を学び家庭医の道へ

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 2013-2015年 | 神戸市立医療センター中央市民病院
初期研修医 |
| 2015-2018年 | 同 総合内科/感染症科 後期研修医 |
| 2018-2020年 | 同 スタッフ |
| 2020-2021年 | 亀田ファミリークリニック館山
家庭医診療科 フェロー |

MCWH診療をサブスぺに

2021-2022年

亀田ファミリークリニック館山,
亀田総合病院 **産婦人科**
マタニティフェロー 1期生

2022-2024年

兵庫県立はりま姫路総合医療センター
総合内科・**産婦人科** 医長

2025年11月

**進藤ファミリークリニックたつの
開業**

当院の特徴

1 標榜科



内科



感染症内科



産婦人科



小児科



皮膚科

2 施設規模



診察室

5室



隔離室

2室



健診室

1室



授乳室

1室

家庭医が妊婦健診を含めたMCWH診療を
実施している (おそらく近畿地方唯一の) ファミリークリニック



Shindo Family Clinic Tatsuno



家庭医がMCWH診療をする上での課題

①地元医師会の許可

妊婦健診：**市**が発行する助成券を用いる

子宮頸がん検診：地元医師会からの**委託**

産婦人科専門医資格を持たないため

開業前に医師会に自分の思い・能力・計画を

伝え実施許可をいただく必要がある

家庭医がMCWH診療をする上での課題

①地元医師会の許可

故郷であるたつの市への熱い想いや
実績(配布資料参照)を認められ、正式に
市の子宮頸がん検診も担当可能となり
産婦人科標榜も許可された



家庭医がMCWH診療をする上での課題

②助産師の確保

妊婦・授乳婦に対する**保健指導**

乳腺炎患者に対する**乳房マッサージ**

訪問型の**産後ケア**

日中に開催される**周産期連絡会**への参加

など、MCWHを実践する上では不可欠

家庭医がMCWH診療をする上での課題

②助産師の確保

アドバンス助産師1名を含む、
計3名の助産師が入職

診療時間内であれば毎日助産師の指導や
相談を受けることができる体制を整えた

家庭医がMCWH診療をする上での課題

③分娩医療機関との連携

- ・ 紹介のタイミング
- ・ 情報共有の方法
- ・ クリニックが休診中の妊婦の急変対応

などを実際に分娩を担当していただく医療機関と密に打ち合わせし、事前に取り決めて運用することが重要

家庭医がMCWH診療をする上での課題

③分娩医療機関との連携



4 施設と正式に連携



セミオープンシステムが利用可能



継続的な妊婦管理が可能

家庭医がMCWH診療をする上での課題

③分娩医療機関との連携

妊娠週数	初期	12週健診	16週健診	20週健診	24週健診	26週健診	28週健診	30週健診	32週健診	34週以降 の健診と 分娩
受診場所	当院	連携 病院	当院	連携 病院	当院	当院	当院	連携 病院	当院	連携 病院

初期に一度分娩医療機関を受診いただき
以後夜間や休日対応は分娩医療機関が担当

家庭医がMCWH診療をする上での課題

③分娩医療機関との連携

妊娠週数	初期	12週健診	16週健診	20週健診	24週健診	26週健診	28週健診	30週健診	32週健診	34週以降 の健診と 分娩
受診場所	当院	連携 病院	当院	連携 病院	当院	当院	当院	連携 病院	当院	連携 病院

中期/後期スクリーニングは連携病院で実施
初期検査・50g GCTなどは当院で実施

家庭医がMCWH診療をする上での課題

③分娩医療機関との連携

初回のみ紹介状を作成し
以後「共通診療ノート」で
妊婦健診情報を共有

共有ノート



進藤ファミリークリニックたつの

氏名： _____

医療機関名： _____

開業後のMCWH診療

日々の患者の**4割**が産婦人科

他に主病があり総合診療科で
WH診療を行っている患者を含めると半数近い



半年で子宮頸部細胞診

400件以上

不適切検体

0件

開業後のMCWH診療

ASC-USの場合ハイリスクHPV検査も実施
陽性の場合にはコルポスコピー目的に
連携先病院へ紹介

妊婦健診の連携に加え、子宮頸がん検査に
おいても密に連携できている

開業後のMCWH診療

妊婦健診数も順調に増加し

現在18名の妊婦健診を継続的に実施している

他院で妊婦健診を受けている方の内科疾患の
管理や、4Dエコー目的の受診を合わせると
延べ50名弱の妊婦を診療したことになる

開業後のMCWH診療

産褥健診や乳児健診目的の受診もあり

5月からは助産師による産後ケアも開始
すでに毎週利用者の予約が入っている状態

一方で90代の訪問診療も実施しており
まさにゆりかごから墓場までの診療を実践

ほかの地域でもきっとニーズはある

私にできたということは、皆さんも
必ずできるということ

産婦人科医が不足した地域で家庭医による
MCWH診療が普及することが次の目標

見学お待ちしております!!



ご清聴ありがとうございました